

タイ国での洪水被害軽減に向けて

～総合コンサルタントとしての取り組み～



ドンムアン空港における浸水の様子
(撮影日：2011年11月16日)



バンコク首都圏内における浸水の様子
(撮影日：2011年11月15日)

タイでは、チャオプラヤ川流域（16万3000km²）を中心に今年7月から例年の1.4～1.8倍（50年確率相当）とも言われる降雨が続き、バンコク首都圏は甚大な洪水被害に見舞われました¹⁾。被害額は2兆円、タイの国家予算の4割以上に上り、首都圏北部に位置する工業団地に進出する日系企業も1,370社のうち、約440社が洪水の被害を受けたとされています²⁾。

このように大きな被害に見舞われている日系企業、及びタイへの最適な支援の方法を探るため、私たちは社内外の専門技術者で構成される特別対策チームを編成し、11月14日～18日にかけて現地で調査を行い、被災状況を確認するとともに、今後の支援策について関係者と協議しました。

オリエンタルコンサルタンツはこれまで都市における洪水対策や総合的な防災支援等といった災害対策に係るあらゆる業務を国内外で実施しています。タイにおいてもこうした経験を活かし、現地の被害軽減と経済の立て直しに向け、短・中・長期的なソリューションを提案していきます。



バンコク東郊外の外周堤防を土嚢で嵩あげし、洪水流入を防いでいる様子（撮影日：2011年11月14日）



工業団地に溜まった水をポンプで排出している様子
(ハイテク工業団地、撮影日：2011年11月17日)

参考資料

- 1) 国際協力機構 Web サイト : http://www.jica.go.jp/topics/2011/20111108_01.html
- 2) 日本貿易振興機構 Web サイト : <http://www.jetro.go.jp/world/asia/th/flood>